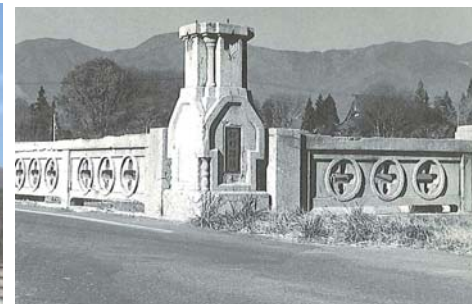


伊那路橋

伊那谷と江戸を結ぶ街道の橋

江戸中期には架設され、伊那路と江戸を結び中馬輸送を支えた街道の橋。伊那路と中山道の下諏訪宿を最短で結ぶ岡谷道(諏訪道)の整備とともに往来が盛んになった。当時の橋は「大橋」と呼ばれており、経費を幕府が負担する「主要街道の橋」と位置づけられていた。

現在の橋は1994(平成6)年に架け替えられたものである。信濃の橋百選に選定されている。



立体的なデザインの旧伊那路橋
「写真集 天龍川
橋紀行」より



少し小振りになったが、
旧橋の親柱の形を受け
継ぐ(写真:小西純一氏)

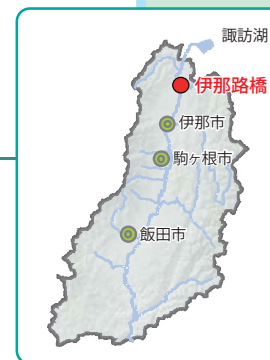
information

□ アクセス

沢駅から400m
徒歩→5分

□ 所在地

箕輪町東箕輪～中箕輪



旧伊那路橋

1877(明治10)年頃、伊那路橋と命名された。長さ63m、幅3.6mの板橋だった。その後、1933(昭和8)年には、長さ60m、幅5.5mのコンクリート橋となった。立体的な装飾が調和良く組まれた素晴らしいものだった。欄干および袖の部分は円形の縁取りの中に角丸の十字模様が大きく抜かれた見事なデザインだった。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)